

# 施政方針

千年先の、未来へ。

下地敏彦市長が、3月定例議会にて2019年度の施政方針を表明しました。宮古島の未来を見据え、新年度の指針をご紹介します。



国際情勢をみますと、中国公船等の我が国領海への度重なる侵犯や、一時は緊張緩和が図られるかに思えた北朝鮮の核問題は依然として不透明な状況です。また、韓国の徴用工訴訟など、日本を取り巻く東アジアの情勢は混沌とした状況が続いています。

本市における自衛隊配備については、市民の平和と安全を守るため了解しているところですが、四月には千代田地区において宮古島駐屯地の開設が決定しています。

一方、国内は、訪日外国人客が3,100万人に達するなど、戦後最長であった「いざなぎ景気」を更新する見込みであり、今後も堅調に推移するものと考えています。さらに、東京オリンピック・パラリンピックの開催まで1年余に迫り、事前合宿などで交流の活発化が見込まれることから、本

## はじめに

平成31年第2回宮古島市議会の開会にあたり、市政運営についての私の基本的な考え方と重点施策の概要を説明し、議員各位並びに市民の皆様にご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、市長に就任してからの10年間、「心つながりの島宮古（みゃーく）」「心かよう夢と希望に満ちた島宮古（みゃーく）」を

を維持しています。

また、サイインゲンが拠点産地の認定を受けるとともに、山羊生産組合が設立されるなど、農家の挑戦意欲が高まっています。

水産業については、伊良部地区において整備を進めてきた海業支援施設が供用を開始し、今後の水産業の振興に寄与するものと期待しています。

子育て支援については、下地・上野地区への認定こども園の開設や出産祝い金の拡充、子ども医療費の窓口無料化の実施など積極的な施策を展開してまいりました。

教育については児童生徒の学力と体力の向上に取り組み、学校規

基本理念とした総合計画を推進し、

本市の豊かな自然や人の繋がりを活かしながら、地域の均衡ある発展を実現するため、各分野における基盤整備を進めてまいりました。

昨年は、未来創造センターや下地島空港旅客ターミナルの建設に加え、観光の好調が民間投資を呼び込み宿泊施設や賃貸住居などの建設需要の高まりに伴って、有効求人倍率が過去最高値を更新するなど、近年まれに見る好況が持続

模適正化では、本市初の小中一貫教育校として「結の橋学園」が4月に開校することに加え、城辺統合中学校の設置に向け、校名等の選定に取り組みました。

未来創造センターについては、親しみやすい知の殿堂として、7月の供用開始に向けて着々と準備を進めています。

本市の情勢は、観光をはじめ、様々な分野において活況を呈していますが、今後は、経済効果を幅広い分野へ波及させる仕組みづくりを構築し、本市の自立的な発展を推進してまいります。

それでは、市政運営にあたっての基本的な考え方について申し上げます。

## 第一章

### 市政運営にあたっての

#### 基本的な考え方

### 1 観光産業と農水産業の振興による地域経済の自立的発展（産業振興）

本市企業の多くが経営基盤の脆弱な中小企業ですが、近年は観光産業を中心に県外企業の進出も増えつつあります。

また、下地島空港旅客ターミナルが供用開始され、LCC路線が就航することや国際線の就航が見込まれていること、平良港が国際旅客船拠点形成港湾に指定され、大型クルーズ船に対応した専

市におけるスポーツアイランドのさらなる推進に向けた取り組みに期待が寄せられております。

また、島尻のパーントゥと野原のサテイパロウが「来訪神 仮面・仮装の神々」としてユネスコの無形文化遺産に登録され全世界から注目が集まり、伝統文化の継承・保存に繋がり、観光面や地域おこしの起爆剤となることを期待しています。

さて、本市においては、伊良部大橋の開通と外国クルーズ船の寄港回数的大幅な増加により、入域観光客が過去最高の約111万人に達するなど、観光が本市の経済を強く牽引しています。

農業については、基幹作物であるサトウキビが台風などの被害はあったものの、機械化の導入や株出栽培の拡大により生産性が向上し、平年並を維持しています。葉たばこについては23億円を超え目標の反収を大きく上回る豊作となっており、肉用牛については近年の子牛価格が好調に推移していることなどから33億円余の高い水準

用バスなどが整備されることに加え、宮古空港の拡張整備が予定されていることなど、今後の本市におけるフライアンドクルーズなど、の新しい旅行形態も含めて、観光情勢はますます好調に推移していくと考えられます。

このように、リーディング産業である観光産業の安定的・継続的な振興発展に資する取り組みを推進し、基幹産業である農水産業と、さらにはその他様々な産業においては、これまでの取り組みを強化・継続するとともに、観光振興による経済効果を島全体で享受できる仕組みづくりを進め、地域経済の自立的な発展を図ります。

## 2019年度 沖縄振興特別推進市町村交付金（一括交付金）事業

<b>企画政策部</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等教育機関の設置検討事業</li> <li>下地島空港旅客に向けたコンテンツ創出事業</li> <li>天然ガス利活用推進事業</li> <li>エコアイランド宮古島ブランド化推進事業</li> </ul>	事業費：107,185(千円)
<b>観光商工部</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘客促進事業</li> <li>クルーズ船観光受入体制強化事業</li> <li>新城海岸水道管敷設事業</li> <li>宮古島市伝統工芸品センター機能強化事業</li> </ul>	事業費：125,849(千円)
<b>福祉部</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>城辺地区福祉施設等基本計画策定事業</li> </ul>	事業費：4,178(千円)
<b>農林水産部</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トロピカルフルーツパーク機能強化事業</li> <li>生鮮水産物流通条件不利性解消事業</li> </ul>	事業費：14,838(千円)
<b>建設部</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地公園環境美化強化事業</li> <li>観光地アクセス道路環境美化強化事業</li> <li>平良港総合物流センター整備事業</li> </ul>	事業費：83,290(千円)
<b>上下水道部</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水保全調査事業</li> </ul>	事業費：79,037(千円)
<b>伊良部支所</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊良部大橋橋詰広場地域振興施設整備事業</li> <li>伊良部地区観光地総合整備事業</li> </ul>	事業費：301,070(千円)
<b>教育部</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を抱える児童生徒の支援事業</li> <li>選手派遣費補助金交付事業</li> <li>電子黒板整備事業</li> </ul>	事業費：110,708(千円)
<b>生涯学習部</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮古島市 neo 歴史文化ロード整備事業</li> <li>移動図書館整備事業</li> </ul>	事業費：40,825(千円)
<b>消防本部</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>救命措置普及強化支援事業</li> </ul>	事業費：7,414(千円)



2 美しい自然環境の保全と  
住みよいまちづくりの推  
進（環境共生・生活環境）

本市は生活用水・農業用水を含むほぼ全ての用水を地下水に頼っているため、その水質や水量の維持・保全に務める必要があります。かけがえのない自然環境を次代へ引き継ぎながら、いつまでも住み続けられる豊かな島を築くため行政のみならず島に生活する全ての人々との協働により、環境負荷低減への取り組みや循環型社会の構築を推進します。

また、近年の大規模な自然災害や凶悪犯罪の発生を受け、防災・防犯に対する意識が高まっておりその取り組みとして、市民、事業者、地域団体などによる自助・共助・公助を基本とした安全・安心なまちづくりを推進します。

さらには、社会基盤の整備による安全性・利便性の向上や、各地域の魅力ある資源・人材などを活かした地域活性化、総合庁舎や未来創造センターをはじめとする将来の効果的な活用を見据えた大型

プロジェクトを推進するなど、総合的な暮らしの快適性の向上を図ります。



【一面に咲く向日葵(6月)】

3 宮古のこれからを担う人  
材育成の推進（教育文化）

下地島空港への国際線就航や国際旅客船拠点港湾整備により大型クルーズ船の就航が増加するなどますます国際化が進展することが見込まれる中、本市のこれからを担う人材の育成を図るため、家庭、学校、地域社会や事業者等が連携し、次代につなげる創造あふれる人材の育成を推進します。

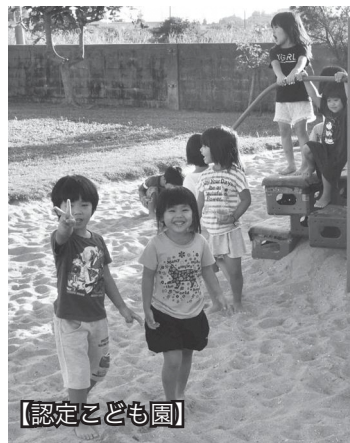
また、住民が各々の文化に誇りと愛着を持てる地域づくりを進めるとともに、その魅力を、訪れる人や世界へ広く発信し、地域の振興に繋げるための核となる人材の育成を推進します。

4 安心して子育てができる  
環境づくりの推進  
（子育て環境）

本市では少子高齢化が進展し、また女性の社会進出や就労形態の多様化など、子育てを取り巻く環境が変化してきており、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりが重要です。

そのため、妊娠から子育てにわたり、きめ細かで切れ目のない支援体制を充実させ、子育て世代に配慮した様々な取り組みを推進します。

また、生活困窮世帯の子どもに対する支援を充実させるため、生活支援に加え、子どもの貧困対策に特化した学習支援などの施策に取り組み、安心して子育てができる環境づくりを推進します。



【認定こども園】

5 健康長寿に向けた地域福  
祉の推進（健康福祉）

本市においても核家族化や一人暮らし高齢者が増加し、地域の生活環境が変化する中、人と人とのつながりが希薄化し、相互扶助（結い）の機能が低下しつつあります。

このような中、生活困窮者、高齢者、障がい者なども含め市民一人ひとりが安心して日々の生活が営める社会の実現が求められています。

また、本市の健康寿命は全国と比べて下位にあり、特に肥満を原因とする生活習慣病の発症、さらには生活習慣病の重篤化による早世や要介護者の増加が危惧されています。

このような状況を解消するため保健・医療・福祉・介護などの行政サービスを充実させ、誰もが安心して暮らせる生活環境基盤の整備、心身ともに健やかに暮らせる健康長寿社会の構築を推進します。

第二章 重点施策

1 多様な産業で  
活力にあふれる宮古

リーディング産業である観光においては、プロモーション活動を積極的に行うとともに、関係機関が連携した観光推進協議会組織の立ち上げに向けて取り組みます。

伊良部大橋の開通後、開発が進んでいる伊良部地区については、地域の魅力発信の核となる地域振興施設を整備するとともに、既存施設のリニューアルに取り組むなど、総合的な観光地整備を進めます。

また、下地島空港旅客ターミナルの供用開始による新たな観光需要の経済効果を市全体へ波及させるため、島の自然環境・住民の生活などに配慮し、各地域の資源・魅力を活かした体験型観光商品などの創出事業に取り組みます。

一方で、入域観光客数の大幅増加により受け入れ体制の構築が急務となつているため、観光地へのアクセス向上を図る新たな二次交通の導入や、外国語に対応できる人材の育成・確保に努めます。

農業については、地域の中心となる経営体の確保や農地集積に向けた取り組みを行う「人・農地プラン事業」を推進するとともに、新規就農コーディネーターによる就農定着支援、サトウキビのハーベスタ収穫などの機械化の促進、地力増強のための有機質肥料・緑肥の推進などの支援を引き続き行います。

畜産については、初期設備投資を軽減するための集合団地型畜舎の整備、優良繁殖雌牛（めすうし）の導入・自家保留による繁殖生産

基盤の拡充などにより、担い手の育成、飼育頭数の増加及び収益性の向上を図ります。

また、肉用牛の繁殖を向上させる取り組みに対し補助を行い、肉用牛の増頭を促進するとともに、宮古牛ブランドの確立を図ります。

また、子牛の肺炎予防に対する補助や家畜伝染病に対する水際対策強化を図るなど、畜産経営の安定化を図ります。

農業基盤整備については、城辺の下南東第2地区や与並武地区、伊良部の火山（ひやま）地区など7地区において区画整理や畑地かんがい施設整備を促進するとともに、機械化による作業効率化の促進、高付加価値農業の展開による収益性の向上及び経営の安定化を図ります。

水産業については、漁場生産力の向上や漁業の再生に関する実践的な取り組みへの補助、漁港の保全・機能増進工事などを行い、「地域特性を活かした持続可能で儲かる漁業」を推進します。

また、新しい産業と雇用の創出

2 豊かで美しい  
自然に囲まれた  
エコアイランド宮古



【2019年初七引】

美しい自然環境を保全し、持続的に暮らすことのできる島づくりを推進するため、市民と一体となつて、エコアイランド宮古島のブランド化を目指します。

地下水の保全については、地下水保全条例の市民への周知及び地下水利用基本計画の着実な実施に取り組みとともに、市全域における地下水モニタリング調査を継続して実施します。



【伊良部大橋】



■2019年度 宮古島市施政方針■

行政情報の提供については、広報みやこじまや行政チャンネル(テレビ)、行政広報ラジオなどを通し、市民が求める情報の発信に



【地元を盛り上げる 地域おこし協力隊(右)】

5 将来を見据えたプロジェクトの推進

本市の振興発展の基盤となるプロジェクト事業の推進については

引き続き、将来を見据えたプロジェクトを推進するとともに、類似施設の統合など施設の効果的な活用を進め、市民生活の充実に向けた基盤づくりに取り組めます。

また、市民の野球競技及びレクリエーション活動の振興やスポーツを活用した人材育成と交流促進を図る施設として、伊良部屋外運動場の整備に取り組みます。

引き続き、将来を見据えたプロジェクトを推進するとともに、類似施設の統合など施設の効果的な活用を進め、市民生活の充実に向けた基盤づくりに取り組めます。

また、市民の野球競技及びレクリエーション活動の振興やスポーツを活用した人材育成と交流促進を図る施設として、伊良部屋外運動場の整備に取り組みます。

また、市民の野球競技及びレクリエーション活動の振興やスポーツを活用した人材育成と交流促進を図る施設として、伊良部屋外運動場の整備に取り組みます。

また、市民の野球競技及びレクリエーション活動の振興やスポーツを活用した人材育成と交流促進を図る施設として、伊良部屋外運動場の整備に取り組みます。

また、市民の野球競技及びレクリエーション活動の振興やスポーツを活用した人材育成と交流促進を図る施設として、伊良部屋外運動場の整備に取り組みます。

4月に開校する「結の橋学園」では、英語教育を強化した独自の

また、市民の野球競技及びレクリエーション活動の振興やスポーツを活用した人材育成と交流促進を図る施設として、伊良部屋外運動場の整備に取り組みます。

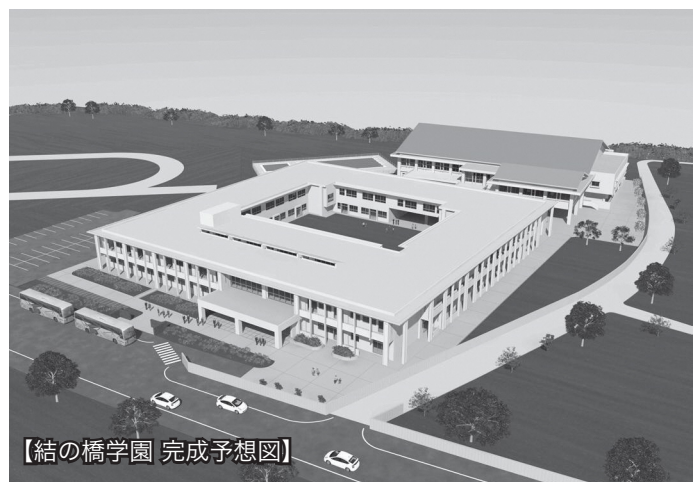
また、市民の野球競技及びレクリエーション活動の振興やスポーツを活用した人材育成と交流促進を図る施設として、伊良部屋外運動場の整備に取り組みます。

また、市民の野球競技及びレクリエーション活動の振興やスポーツを活用した人材育成と交流促進を図る施設として、伊良部屋外運動場の整備に取り組みます。

また、市民の野球競技及びレクリエーション活動の振興やスポーツを活用した人材育成と交流促進を図る施設として、伊良部屋外運動場の整備に取り組みます。

また、市民の野球競技及びレクリエーション活動の振興やスポーツを活用した人材育成と交流促進を図る施設として、伊良部屋外運動場の整備に取り組みます。

また、市民の野球競技及びレクリエーション活動の振興やスポーツを活用した人材育成と交流促進を図る施設として、伊良部屋外運動場の整備に取り組みます。



【結の橋学園 完成予想図】

6 グローバル社会で活躍できる人材育成の推進

学校教育においては、児童生徒の確かな学力の向上に向け、教職員研修の充実や指導方法の工夫改善など「わかる授業」の構築に努めるとともに、校舎の維持・改築などによる安全性の確保や学校規模の適正化を図り、より良い教育環境づくりを推進します。

4 市民との協働によるまちづくりの推進

地域において、コミュニティ機能の低下を防ぎ、今後も住み慣れたところで生活が継続できるように、地域おこし協力隊の視点を活かした「小さな拠点づくり」を進めるとともに、地域づくりのリーダーとなる人材の育成を行います。

併せて、地域活動の中心となる自治会に対し、活動の拠点となる集落センター等の備品設置などの支援を行うとともに、自主的な地域活性化団体への補助金交付など、持続可能な地域活動を支援します。

男女共同参画社会の実現については、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進し、男女がともに活躍できる豊かで活力があり、性別にかかわらずその個性を発揮できる社会の実現のため、男女共同参画計画「うい・ずう・プラン」の推進を図ります。

行政情報の提供については、広報みやこじまや行政チャンネル(テレビ)、行政広報ラジオなどを通し、市民が求める情報の発信に



【海岸清掃ボランティア】

また、有機質肥料や緩効性肥料、緑肥などの普及を図るとともに、畜産糞尿の適正処理を図るため、畜産農家への堆肥盤設置の補助を行います。

併せて、森林の持つ水源涵養をはじめとする多面的な機能を強化・維持するため、造林を促進するとともに、既存森林の適切な管理を行い、地下水の保全に努めます。

さらには、公共下水道・農漁業集落排水区域での施設接続率の向上や合併処理浄化槽の設置を促進します。

また、有機質肥料や緩効性肥料、緑肥などの普及を図るとともに、畜産糞尿の適正処理を図るため、畜産農家への堆肥盤設置の補助を行います。

3 安全・安心で快適な暮らしが持続する宮古



【リサイクルセンター】

循環型社会の構築については、島全体でエネルギーを効率的に利用するスマートコミュニティの構築に向けた実証事業や、電気自動車の普及促進を図ります。

また、リサイクル啓発の拠点として、再生品工房、リサイクルに関する研修や情報発信の機能を備えたリサイクルセンタープラザ棟の整備を行います。

また、災害に強い島づくりについては、地域防災計画の見直しやハザードマップの作成、防災情報の提供を充実させるとともに、地域の自主防災組織の結成を促進し、その育成・強化のための防災訓練の充実を図ります。

また、生活路線バスについては、運行の確保ならびに経営を支援するとともに、学生のバス通学運賃について助成を行います。

また、生活路線バスについては、運行の確保ならびに経営を支援するとともに、学生のバス通学運賃について助成を行います。

また、生活路線バスについては、運行の確保ならびに経営を支援するとともに、学生のバス通学運賃について助成を行います。

また、生活路線バスについては、運行の確保ならびに経営を支援するとともに、学生のバス通学運賃について助成を行います。

また、生活路線バスについては、運行の確保ならびに経営を支援するとともに、学生のバス通学運賃について助成を行います。

また、生活路線バスについては、運行の確保ならびに経営を支援するとともに、学生のバス通学運賃について助成を行います。

また、生活路線バスについては、運行の確保ならびに経営を支援するとともに、学生のバス通学運賃について助成を行います。



【長栄大学 日本教育センター設置】

できるよう、超高速ブロードバンドの整備を推進します。

また、本市には高等教育機関が存在しないことから、高等学校卒業後に進学を望む若年層が必然的に転出するという課題を解消し、若年層の定住人口増加を図るため、高等教育機関の設置に向けた取り組みを進めます。

また、本市には高等教育機関が存在しないことから、高等学校卒業後に進学を望む若年層が必然的に転出するという課題を解消し、若年層の定住人口増加を図るため、高等教育機関の設置に向けた取り組みを進めます。

また、本市には高等教育機関が存在しないことから、高等学校卒業後に進学を望む若年層が必然的に転出するという課題を解消し、若年層の定住人口増加を図るため、高等教育機関の設置に向けた取り組みを進めます。

また、本市には高等教育機関が存在しないことから、高等学校卒業後に進学を望む若年層が必然的に転出するという課題を解消し、若年層の定住人口増加を図るため、高等教育機関の設置に向けた取り組みを進めます。



■2019年度 宮古島市施政方針■

の軽減を図ります。

保育施設の充実については、認可外保育施設の認可化や既存施設の増改築による定員拡大を図り、待機児童の解消に努めます。

また、民間の認可及び認可外保育施設に対し補助金を交付し、保育の質の向上を図ります。

就労との両立を支援する取り組みとしては、預かり保育事業や放課後児童クラブの運営補助を実施するほか、ファミリーサポートセンターの活用を促進し、地域における相互援助活動を支援します。

適切な児童養育については、専門職員による相談・指導、要保護児童等及び未就園児等の家庭調査などを行い、虐待の未然防止、早期発見及び迅速な対応に向け関係機関との連携強化を図ります。

子どもの貧困対策については、貧困の連鎖を断ち切るため、居場所づくりや食事の提供、生活指導や学習・就学支援を行うとともに、保護者に対しての相談、助言や生活指導を行います。



学習カリキュラムにより、個性豊かな人材の育成を図ります。

また、城辺地区統合中学校の2021年4月の開校に向け、校舎増改築及び外構工事の実施設計を行います。

視覚的にわかりやすい授業構築に向けた電子黒板の導入や、英語教育でのAI導入実証事業など、学校のICT環境整備を促進し、情報活用能力を備えた人材の育成を図ります。

発達障害や家庭環境などに課題をかかえている児童生徒に対し、支援員を配置するなど、きめ細かな支援を行います。

学校給食については、地元で採れた農水産物の積極的活用を努め、

7 郷土に誇りを持ち一人ひとりが輝く宮古

安全、安心な給食の提供を推進するとともに、食育指導の充実を図ります。

また、国際理解を推進するための海外ホームステイ補助や米国ハワイ州マウイ郡、台湾基隆市の姉妹都市との交流に加えて、昨年から本市での分校設置に向けた取り組みを進めている台湾の長栄大学との交流促進を図り、国際化に対応する人材の育成に取り組んでまいります。

社会教育のうち、生涯学習については、学習成果の発表や情報発信の場を提供することにより、誰でも、いつでも、どこでも学習することができ、また、学習成果を活かす生涯学習社会の実現を目指し、生涯学習フェスティバルなどを開催します。

文化振興については、優れた芸術に触れる機会の提供、絶滅危機にある言語とされている宮古方言の継承など、市民文化の育成と創



造・発展を推進するとともに、担い手の育成、新しい文化の創造を広く発信するため、市民総合文化祭やマティダストリートパフォーマンス公演などを実施します。

また、文化財を活用した地域振興をコーディネートする人材を育成し、観光振興や郷土愛の醸成につなげるため、宮古上布を核とした「日本遺産」の認定を目指した取り組みを行います。

スポーツ振興については、総合体育館など5施設を宮古島市スポーツ協会の指定管理とし、競技者のニーズに沿った運営に努めるとともに、スポーツ推進委員の育成や各種競技大会を開催するなど、

9 地域の支え合いによる健康福祉の宮古

高齢者が生きがいを持って暮らせる環境づくりについては、住まいや医療などの生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築に努めるとともに、「長寿大学」や「通いの場」などの取り組みを進め、介護予防の推進とともに生きがいづくりや地域支え合いの環境づくりを図ります。

また、高齢者が多年にわたり社会に尽くしてきたことに敬意を表し、敬老祝い金及び記念品を贈ります。



障がい者支援については、施設入所者の地域生活への移行や自立に不可欠な就労定着に向けた支援のため、介護及び訓練給付費を支給するとともに、日常生活・社会

生活能力の向上を目指したサービス利用の強化を図ります。

また、障害児支援の充実を図るため、障害児が必要とする通所支援サービス利用に要する費用の一部を給付します。

さらに、身体障害者に対し、日常生活・社会生活能力の回復または更正を図る施術について医療費を助成します。

8 積極的支援による安心して子育てのできる宮古

生涯スポーツの振興及び市民の健康増進・体力向上を図ります。

未来創造センターにおいては、移動図書館や講座・サークル活動を継続するとともに、市民から強く要望のあるブックスター事業を実施するほか、新施設の機能を活かした新たな取り組みについて検討してまいります。

安心して子どもを産み育てる環境づくりとして、妊婦及び胎児の健康を保持するとともに産前産後の精神的負担の軽減を図るため、妊婦健診やマタニティスクール事業を行います。

また、本市以外での不妊治療に対し渡航費の助成を行います。

子どもの健やかな成長を願い出産祝い金を交付するほか、こども医療費については、病気の早期発見、早期治療のため窓口無料化を実施するとともに、全ての児童生徒を対象に学校給食費の半額を助成するなど、保護者の経済的負担



国民健康保険については、運営主体が県へ移管したことから、財政基盤の強化を図り、より充実したサービスの提供に努めます。

市民の健康づくりについては、特定健診、長寿健診やがん健診など各種健診の受診率向上に向けた取り組みを強化するとともに、市





ともに、新たに二次救急医療機関への助成を行います。

また、専門的で高度な救急業務に対応するため、より高い知識と技術を持った救急救命士の育成に取り組み、医療機関との連携強化に努めます。

生活困窮者など福祉的支援を必要とする市民のため、コミュニティソーシャルワーカーや生活困窮者自立相談支援員を配置し、課題の相談や必要な助言を行うなど、一体的かつ計画的な支援を行い、自立促進を図ります。

10 効率的・効果的な 行財政運営の推進

多様・高度化する行政需要に対応するため、職員の資質向上に努め、市民サービスの向上を図ります。

行財政改革については、第3次集中改革プラン及び定員適正化計画を着実に実施してまいります。

組織機構については、市民スポーツ課及び文化ホールを生涯学習振興課に統合するとともに、教育

施設に関して教育部と生涯学習部の連携を強化し、迅速かつ効率的に事業を遂行できるように、教育施設を新設します。

本市の財政状況は、社会保障費や公共施設の老朽化による更新費用の増加が見込まれているなか、平成28年度から地方交付税の引き下げが始まっており、各種基金の積み立てや、公共施設等総合管理計画を基本とした、公共施設の適正配置を図るとともに、市債発行の抑制による公債費負担の軽減を図るなど、健全な財政運営に努めます。

自主財源の確保については、市税や負担金などのコンビニ納付の拡大を推進し、徴収率の向上を図るとともに、新たな財源の確保に向け、ふるさと納税事業を推進します。

市民の利便性向上を図るため、マイナンバーカードを利用した各種証明書のコンビニ交付サービスを実施します。



2019年度 宮古島市 施政方針

おわりに

今年、平成から元号が変わり、新しい時代の幕が開けます。

合併後13年余が経過する本市においても、下地島空港ターミナルの運用開始、増加する大型クルーズ船客への対応、そして来年開催される東京オリンピック・パラリンピックの対応など、国際化に向

け大きく動き出す変革の年であります。

この変革の年に、学校教育においては伊良部地域の小中一貫教育校「結の橋学園」が開校し、生涯学習の拠点施設として「未来創造センター」が供用を開始します。

また、移転新築する総合庁舎については庁舎機能を集約し、市民に利用しやすい親しまれる施設として、本格的な工事が始まります。

本市が将来に亘り持続的に発展するためには、空港、港湾など受け入れ体制の充実はもとより、急速に進む国際化への対応が、ますます重要性を増すものと考えています。

そのため国内外の高等教育機関等と連携し、外国語人材の育成を図るとともに、市民の国際交流を促進し、本市の国際化に向けた取り組みを展開してまいります。

最後になりますが、市民の皆様、そして市議会議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。私の施政方針とします。

平成31年3月4日  
宮古島市長 下地敏彦